

令和3年度 事業実施報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

● 渉外部会

担当副会長	藤井 孝	アイビーエージェント(株)
部会長	福野 泰介	(株) jig.jp
副部会長	吉村 一男	インプロジャパン(株)
副部会長	今村 善孝	大電産業(株)
副部会長	長野 学	(株)ドコモ CS 北陸福井支店
副部会長	磯橋 秀典	日本電気(株)福井支店

1. 行政機関及び関連団体等との連携

行政機関及び他団体等との情報交換・交流等を図り、IT産業界の基盤確立を図った。

(1) 行政機関等との情報交換・交流

内 容	実施期日
北陸情報通信協議会総会	(書面決議)
福井県環境・エネルギー懇話会総会 (事務局)	(書面決議)
福井県経済団体連合会・事務局責任者会議 (事務局)	9/28 2/8 (オンライン)
福井県経済界サマースクール	中止
知事を囲む経団連加盟首脳会議 (小森会長)	11/2

(2) 関係団体等との交流

ア. 福井県IT産業団体連合会への参画

① 役員会

・第1回

開催日時：令和3年9月 (書面表決)

- 議 題： ・ 役員の変更について
- ・ 令和2年度事業報告及び収支決算報告について
 - ・ 令和3年度収支予算案について
 - ・ ふくいITフォーラム2021の開催について
 - ・ ふくいソフトウェアコンペティションについて

出席者数：17名 (理事14名 (当会から9名)、監事3名 (当会から1名))

・第2回

開催日時：令和4年3月22日 (火)

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

- 議 題： ・ 令和3年度事業実施状況及び収支状況報告について

- ・ 令和4年度事業実施計画及び収支予算について
- ・ ふくいITフォーラムの剰余金について

出席者数：15名（理事12名（当会から7名）、監事3名（当会1名））

② 賀詞交歓会 新型コロナ感染拡大により中止

イ. 福井県インターネットプロバイダー防犯連絡協議会への参加

開催日時：令和3年12月24日（金） 13：30～14：30

開催場所：WEB会議

議 題：令和3年度活動報告、令和4年度活動予定

ウ. 北陸情報通信協議会への協力

会員として参加し、協議会からの各種情報を会員に広報

情報通信月間行事に参加（定時総会後の講演会）

2. 会員の拡充

正会員1社が新規に入会し、3社が退会した。

新規会員：インプロジャパン株式会社

退会会員：株式会社富士通エフサス（組織変更による）

株式会社ジークス北陸支社

株式会社日立製作所

3. セミナーの開催

開催日時：令和3年10月15日（金） 16：00～17：00

開催場所：アオッサ 6階 研修室 601A・B

演 題：デジタルを活用した社会環境の変化（DX）と県の取組み

講 師：福井県DX推進監 米倉 広毅 氏

参加者：51名

● 総務・企画部会

担当副会長	山崎 貞人	ミテネインターネット(株)
部会長	藤本 潤一	(株)バリューリンクス
副部会長	東 郁雄	(株)ビジュアルソフト
副部会長	野口 邦治	(株)福井新聞社
副部会長	佐野 慎治	福井ネット(株)
副部会長	岡田 英男	三谷商事(株)

1. 各種会議の開催

(1) 第46回通常総会の開催

開催日時：令和3年5月26日（水）14：45～16：00

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

議 題：・ 令和2年度事業実施報告及び令和3年度事業計画に関する件
・ 令和2年度収支決算報告及び令和3年度収支予算に関する件
・ 補欠理事・増員理事の選任に関する件

出欠状況：出席者46名（うち委任状10名）

講演会：世界ビジネスの変革～ビヨンドコロナ下のグローバル戦略

金沢大学教授 松島 大輔 氏

出席者 36名

(2) 理事会の開催

6回開催

第287回（4月9日）、第288回（5月26日）、第289回（7月29日）

第290回（10月15日）、第291回（12月8日）、第292回（2月24日）

2. ふくいITフォーラム2021への参画

福井県IT産業団体連合会主催の「ITフォーラム2021」の企画委員として、企画・運営等に参画した。（総務・企画部会員を中心に15名が参画）

企画委員会：第1回 令和3年4月27日（火）（オンライン）

第2回 令和3年9月3日（金）（オンライン）

出展者説明会を併せて開催（オンライン）

第3回 令和4年1月19日（水）（オンライン）

ふくいITフォーラム2021

開催期間：令和3年10月21日（金）～22日（土）

ウェブ開催：10月4日（月）～29日（金）（11月30日（火）まで延長）

開催場所：福井県産業会館、福井県中小企業産業大学校

出展者数：21企業・団体（34小間）

他にウェブ出展のみ 6企業・団体

来場者数：11,186名（初日5,936名、最終日5,250名）

3. 会員に対する各種情報の提供

国、県及び各種団体からの公募、講演会、研修会等の案内情報を会員に提供した。

4. 福井労働局が実施する事業への協力

福井労働局からの要請により、労働者派遣事業適正運営事業協力員制度に協力員を派遣した。

協力員：副会長 藤井 孝 氏

5. 会員交流会の開催

工業会会員相互の親睦と交流を促進するため、ゴルフ大会を開催した。

開催日：令和3年10月23日（土）

開催地：芦原ゴルフクラブ 海コース

参加者：19名

6. 部会の開催

部会事業の実施検討及び進捗状況確認のため部会を開催した。

開催日時：令和3年9月15日（水） 16:00～17:00

開催場所：オンライン

検討議題：ふくいITフォーラム2021について

会員交流会について

参加者数：9名

● 技術部会

担当副会長	木下 克則	(株)K 2アドバンスト
部会長	後 淳也	三谷コンピュータ(株)
副部会長	小山 嘉雄	(株)永和システムマネジメント
副部会長	松田 優一	(株)ナチュラルスタイル
副部会長	林 治克	福井コンピュータホールディングス(株)
副部会長	大島 恵美子	富士通 Japan(株) 福井支社

1. 技術者等を対象とした講習会の実施

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

2. 先進企業等への視察研修の実施

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

3. 関係機関等との連携

I T 関連の展示・発表会やセミナー等について、後援等を行った。

- ・ e -messe 金沢 (一社) 石川県情報システム工業会
- ・ふくい I T フォーラム 2021 福井県 I T 産業団体連合会
- ・ Matching HUB Kanazawa2021 北陸先端科学技術大学院大学
- ・第 5 回越前がにロボコン 福井県子どもプログラミング協議会 (共催)
- ・福井工業大学講演会 福井工業大学 AI&IoT センター
- ・サイバーセキュリティ地域別セミナー in 福井 (一社) 関西情報センター

4. セミナーの開催

開催日時：令和 3 年 7 月 2 9 日 (木) 1 6 : 0 0 ~ 1 7 : 3 0

開催場所：アオッサ 6 階 研修室 601A・B

演 題：真のインターネット「EVER/IP」でのビジネスモデルの変革

講 師：コネクトフリー(株)代表取締役総合開発責任者兼 CEO 帝都 久利寿 氏
(株)Jig.jp 取締役会長 福野 泰介 氏

参 加 者：4 4 名

● 人材確保・育成部会

担当副会長	島崎 将成	(株)NTT 西日本 福井支店
部会長	三上 匡之	(株)江守情報
副部会長	濱 義弘	パワーシステム(株)
副部会長	向井 邦彦	福井システムズ(株)
副部会長	品川 祥郎	北信テレネックス(株) 福井支店
副部会長	土谷 秀靖	(株)マルツ電波

1. ふくいソフトウェアコンペティション 2021 への参画

審査・表彰

- ・ 審査委員：藤井 孝 氏、東 郁雄 氏
- ・ 予備審査会：令和3年11月13日（土）
福井県産業情報センター
- ・ 本審査会：令和3年11月27日（土）
福井県中小企業産業大学校
- ・ 表彰式：令和3年12月18日（土）
福井県産業情報センター
福井県 IT 産業団体連合会会長賞の贈呈（進藤会長）
協賛企業賞授与 9社

2. 大学生等を対象とした人材確保・育成事業等への協力

(1) 福井県経営者協会等が実施するインターンシップへの協力。

学生を企業現場等の実践環境に一定期間派遣し、即戦力となる高度技術者の育成を図る「実践型人材育成事業」に参加協力する。

(2) 福井大学の情報関連講座への講師派遣

情報関連講座に2名の講師を派遣し、講義を行った。

これまで実施してきた企業紹介と学生との交流会は新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

派遣講師：(株) 江守情報 執行役員 新山史朗 氏

(株) 永和システムマネジメント IT サービス事業部長 岡島幸男 氏

(3) 福井県立科学技術高校の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への協力

地域社会、産業に貢献できる人材を育成するため、先端技術の習得、高度な資格取得等に関するカリキュラムの開発や共同研究などの事業協力を行った。

3. セミナーの開催

開催日時：令和4年2月24日（木） 16：00～17：00

開催場所：福井県産業情報センター

演 題：「メンタルヘルス対策について」

福井産業保健総合支援センター メンタルヘルス対策促進員 窪田 善一郎 氏
「健康経営と健康づくり」

全国健康保険協会福井支部長 畑 秀雄 氏

参加者：19名

● DXオープンラボ管理運営委員会

運営委員長	島崎 将成	西日本電信電話(株) 福井支店
副委員長	大島恵美子	富士通 Japan(株)
副委員長	藤本 潤一	(株)バリューリンクス

(公財) ふくい産業支援センターに設置された「ふくいDXオープンラボ」において、DX技術に関する勉強会やプログラミング体験会など、導入効果や活用方法を学べるイベントを開催するとともに、専門知識を有する運営スタッフが企業のDX技術導入等に関する相談に対応することにより、本県のDX技術の普及を推進する。

1. 実践研究会の開催

No.	名称	内容	構成員
1	kintone 研究会	<p>進行役 LOCCIO 上坂哲教</p> <p>(内容)全6回シリーズとし、前半3回で基礎的な復習をし、アプリ連携を含む管理ツールづくりを体験して頂く。後半3回で社内データを用いた応用システム作りに挑戦して頂く。</p>	23名
2	セキュリティー研究会	<p>進行役 まるおかデジタル佐藤</p> <p>身代金目当てのランサムウェア攻撃対策、長期休暇明けの対策、ネットでの誹謗中傷対策など具体的な事案を発生させ、発見・報告・対策会議の形で議論する。</p>	11名
3	RPA/OCR 研究会	<p>進行役 NTT 西日本</p> <p>RPAとOCRを自社業務で活用できるようになることを目標に、利用シーンを想定した実用的なシナリオ作成に挑戦していただく。前半3回でWinActor(RPA)の操作方法(基本編・応用編)をマスターし、サンプルデータをもとに実用的なシナリオを作成。</p> <p>後半3回でAI-OCRを実際に操作し活用シーンの理解を深め、WinActor(RPA)にAI-OCRを組み込んだシナリオ作成に挑戦していただく。</p>	12名

2. 技術勉強会の開催

回	名称	月 日	参加者数	内 容
1	初心者限定！はじめてのkintone（キントーン）勉強会	6月14日	5	kintone（キントーン）の利用を考えているという方向けに、ツールの概要と基本操作を実習形式で習得する「初心者限定」の勉強会 ・講師 LOCCIO 上坂哲教
2	AIカメラ勉強会	7月28日	11	StickV カメラを用いて3種類のワークをいろいろな角度から撮影し、学習モデルを作る実習。 ・講師 グラスITフィールズ山本社長
3	RPA体験勉強会	9月10日	11	低コストRPAのアシロボを使って、事務作業の自動化を体験。 ・講師 グラスITフィールズ山本社長
4	出前授業（科学技術高校3年生） 金曜 10:00～12:00	10月15日	33	MESH によるシステム作り、ラズパイでモータ動かす、ラボ見学の3本をローテイトして体験。 ・講師 ラボスタッフ
5	AI 外観検査勉強会	10月20日	16	外観検査における光学系の選定法とAI処理を学ぶ。 ・講師 CCS 社（京都）久保さま
6	EverIP 勉強会	10月27日	10	EverIP の基礎と実際のデモおよび福井県での実証実験内容を紹介。 ・ユニコシステム 小森聡（はじめ）
7	出前授業（池田ウッドラボ） 土曜午後 1:00～3:00	11月6日(土)	20	・「はじめてのブロックプログラミング体験「MESH」を使って簡単にシステムづくりを学ぼう」 ・LOCCIO 上坂哲教
8	無料版RPA勉強会	11月10日	15	・MSのPower Automateの無料版を使ってRPAを体験 ・上坂会計 笹岡勇介
9	セキュリティ実践体験	11月13日	7	セキュリティに関するケーススタディーを参加者でロールプレイ。実践力向上をはかる。 ・まるおかデジタル(株) 佐藤英治
10	WinActor 勉強会 オンライン	11月17日	11	RPAシェアNo.1のWinActorについて基礎を体験する。 ・NTT西日本 小松正臣

11	出前授業（坂井高校 1 年） IoT 実習	12 月 8 日	30	<ul style="list-style-type: none"> ・MESH によるシステム作り、ラズパイでモータ動かす（科技高の出前をバージョンアップ） ・講師 グラス I T フィールズ荒井
12	セキュリティ実践（中級）	12 月 25 日	8	<p>年末年始におけるセキュリティに関するケーススタディーを参加者でロールプレイ。インシデントの発見・報告・模擬対策会議の形で議論を深めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まるおかデジタル(株) 佐藤英治
		合計	177	

3. 展示更新 以下 6 コマの新規展示を企画し、運用を行った。

更新日	更新内容	展示内容	備考
6 月	新規 3	<ul style="list-style-type: none"> ①AR グラスによる遠隔指示（NTTdocomo） ②地域防災への DX 利用（山田技研） ③AI カメラによるメーター自動読み取りで製造現場をモニタリング（グラス） ・Ho-SaKU 農業ハウスの IoT 環境制御（グラス） ・B L Y N K で製造設備稼働状況の見える化（グラス） ・IoT 向け開発ツール、3 蜜回避アプリ（ウフル） ・Google Colaboratory ・機械学習による特許文章の自動分類（AWI） ・ゲートセンサーによる来場者管理 ・ロボホン（sharp） ・つながる工場（産業技術総合研究所） 	<p>撤去：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスク声掛け、 ・スマートマット、 ・働き方の見える化（NTT 西日本） ・惣菜認識 AI ・路面状況センサー（山田技研） ・川鶉のモニタリング（フィッシュパス） ・ソフトコンペ作品 ビートの達人（科技高） ・ソフトコンペ作品 シェルターレーダー（大原学園）
10 月	新規 2	<ul style="list-style-type: none"> ④「作業動作解析のための人体骨格検出法」（荒井スタッフ） ⑤「ラズパイで作ろうじゃんけんロボット」 ever/ip でのリモートコントロールデモ（マネージャ） 	
3 月	新規 1	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ホテル浴場の在室人数確認（鯖江第一ホテル） <p>休暇村越前三国にも設置 3/4</p>	1/28 福井新聞

4. DX オープンラボでの相談対応

コロナ対策としてオンラインでの相談に対応した。

DX オープンラボに専門相談員 3 名を配置して、延べ 7 2 日、1 2 1 件の相談対応を行った。

専門相談員：(株) ビジネス・アイ 枋川 昌文 氏

専門相談員：(株) システムコネク ト 清水 昭彦 氏

専門相談員：ユニコシステム(株) 小森 聡 氏

● 越前がにロボコン実行委員会

実行委員長	三上 匡之	(株)江守情報
副委員長	福野 泰介	(株) jig.jp
副委員長	原 秀一	(株) ict4e
副委員長	松田 優一	(株)ナチュラルスタイル

第5回越前がにロボコン開催結果

1. 開催日 令和3年11月7日(日) 10:15~16:00
2. 会場 ショッピングシティ・ベル 3階 あじさいホール
3. 主催 福井県こどもプログラミング協議会
4. 共催 (株)福井新聞社 (一社)福井県情報システム工業会
5. 後援 総務省 福井県 福井県教育委員会 福井商工会議所
福井大学 福井工業大学 福井高等専門学校
NHK 福井放送局 FBC 福井テレビ 福井県機械工業共同組合

6. 大会の目的

福井県の冬の味覚の王様「越前がに」を県内外に広くアピールするとともに、子どもたち(小・中学生)が自律型ロボットを制作し自動制御させることにより、科学技術を身近に体験してもらう機会を提供する。また、2020年から小学校で開始された「プログラミング教育」への興味を養う。

7. 大会の内容

市販ロボットキットを使って自作したロボットで競技に挑戦する。ロボットの形状がカニがイメージ出来るものであること。モーター・センサー(光、タッチ、超音波)・機構を使い。決められたコースを自動で走行させミッションの達成度とタイムを競う。

▶ エントリー部門

小学生のみ対象。ロボットの機構に制限は無し。レアメタルの位置が事前に告知されている。激レアメタルの個数は1個。

▶ 歩行型ロボット部門

小・中学生対象。歩行型のロボットであること。レアメタルの位置は当日に告知される。激レアメタルの個数は3個。

8. 開催結果

越前ロボコンへの参加者を募るため、昨年同様に県内で開催しているロボコン教室と小中学校に協力をお願いした。6 教室からの参加とこどもプログラミング実業団 1 団体、WEB からの個人参加 4 チームを含めて、エントリー部門：15 チーム、歩行型ロボット部門：10 チームの合計 25 チーム、26 名が参加した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年より短く、10:15 から予選を行い、13:00 より本選を行った。

エントリー部門、歩行型部門よりそれぞれ優勝ならびに 2 位と 3 位、本年度より新設されたデザイン部門優勝の各チームに賞が贈られた。

▶ エントリー部門

優勝：横山 凜人 鯖江東小 3 年 スピリッツスマイル

2 位：西口 陽 惜陰小 5 年 スピリッツスマイル

3 位：三田 廉夢 敦賀西小 3 年 嶺南地区ロボコン競技推進協議会

▶ 歩行型ロボット部門

優勝：中島 広太郎 社南小 6 年 個人

2 位：加藤 新大 北日野小 2 年 PCN 武生

3 位：岩崎 正悟 小浜中 3 年 嶺南地区ロボコン競技推進協議会

▶ デザイン部門

優勝：高山 椿妃 円山小 2 年 NPO 法人 Bumps

● DX化検討委員会

委員長	小森 富夫	ユニコシステム(株)
○見守り分科会		
委員長	松田 優一	(株)ナチュラルスタイル
担当副会長	藤井 孝	アイビーエージェント(株)
メンバー	島崎 将成	(株)NTT 西日本
〃	濱 義弘	パワーシステム(株)
〃	野口 邦治	(株)福井新聞社
〃	後 淳也	三谷コンピュータ(株)
○IT人材育成分科会		
委員長	三上 匡之	(株)江守情報
メンバー	長野 学	(株)ドコモ CS 北陸
〃	磯橋 秀典	日本電気(株)福井支店
〃	佐野 慎治	福井ネット(株)
○行政手続分科会		
委員長	福野 泰介	(株)jig.jp
メンバー	吉村 一男	共同コンピュータ(株)
〃	帝都 久利寿	コネクフリー(株)
〃	今村 善孝	大電産業(株)
〃	山内 登志美	日本ユニシス(株)
〃	向井 邦彦	福井システムズ(株)
〃	大島 恵美子	富士通 Japan(株)
〃	小森 聡	ユニコシステム(株)
〃	島崎 将成	(株)NTT 西日本

県との意見交換会の開催

令和3年9月3日(金) DXラボ

杉本知事等に対し、DX化検討委員会の各分科会の取組みについて説明

福井県立大学との打合せ

令和3年10月28日(木) 福井県立大学

福井県立大学のデジタル化推進について協議

● 見守り分科会

■活動方針

高齢社会において、AIを活用した見守りなどにより、高齢者の安心安全を進める。

■事業概要

DXを活用した「お年寄り」見守りシステムの構築

■活動実績

宅内IoTセンサーから「ドアを開けた」などの活動データを情報センターに送りAIで解析、生活の異常を検知・予測するシステムを考案。

第1回会議 令和3年6月29日（火）

第2回会議 令和3年7月26日（月）

県健康福祉部との意見交換 令和3年8月11日（水）

● IT人材育成分科会

■事業概要

県が未来のIT技術者育成に向け掲げる

① IT人材育成システムにより、未来技術を開発・活用できる次世代人材を数多く育成・輩出

② ITスクールの開講等により、県内企業で活躍する高度専門人材を育成

について、県と連携しDXに精通した人材の育成に努めていく。

■活動実績

・IT人材育成・確保に向けた取組みについての協議

・「ふくいITエンジニア養成スクール」の実施に向けた協議 など

[短期集中コース]

8月9日～9月27日

定員20名（申込者21名、受講者18名、修了者15名）

[長期コース]

10月24日～2月20日

定員30名（申込者62名、受講者30名、修了者25名）

第1回会議 令和3年2月4日（木）

第2回会議 令和3年3月17日（水）

第3回会議 令和3年5月7日（金）

第4回会議 令和3年7月7日（水）

第5回会議 令和4年2月8日（火）（オンライン）

● 行政手続分科会

■ 事業概要

スムーズで誰もが安心を納得できる電子申請は、円滑な経済活動の要であり、県内 GDP アップのベースとなる。福井県にて、いち早く実証・実用化し、国へ報告し、開発したシステムを他県、他国へと横展開することによる福井県への IT 産業の拡大、IT セクターの売上増を狙う。

■ 活動実績

・ゼロトラスト研究会

安全、安心、安価な新しいネットワーク設計である「ゼロトラスト」を、コネクティブ社の「EVER/IP」と NTT 西日本の光ネットワーク「NGN」を組み合わせ、鯖江市役所の職員自らが環境構築とデモを行い、実運用に向けた質疑応答と課題の確認を実施。越前市役所では丹南ケーブルテレビの回線を使った応用例を検証予定

・法人による電子手続きの実現

公開鍵暗号による電子署名を使った安全でグローバルに展開可能な電子手続きの実現方法をディスカッション。gBizID プライムという国が用意する法人用の認証手続きはあるが、国間取引に使えないことが、先行するシンガポールで課題に。福井モデルを作って世界に広げられる可能性がある。

第1回ゼロトラスト研究会	令和3年8月4日(水)	鯖江市役所+オンライン
第2回ゼロトラスト研究会	令和3年9月9日(木)	鯖江市役所+オンライン
第3回ゼロトラスト研究会	令和3年10月7日(木)	鯖江市役所+オンライン
第4回ゼロトラスト研究会	令和3年11月11日(木)	鯖江商工会議所+オンライン
第5回ゼロトラスト研究会	令和3年12月9日(木)	越前市役所+オンライン
第6回ゼロトラスト研究会	令和4年1月14日(金)	鯖江商工会議所+オンライン
第7回ゼロトラスト研究会	令和4年2月3日(木)	オンライン
第8回ゼロトラスト研究会	令和4年3月3日(木)	オンライン

令和4年度 事業計画（案）

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

● 渉外部会

行政機関、関連団体、他産業との情報交換・交流を行い、情報関連業界への理解と業界の発展を図る。

事業概要

1.行政機関及び関連団体等との連携

- （1）行政機関、経済団体等との連携・交流
- （2）福井県 I T 産業団体連合会が主催する産学官連携推進懇話会へ参画
- （3）福井県インターネットプロバイダー防犯連絡協議会への参加
- （4）北陸総合通信局が主催する I C T の利活用の推進及び産業・ビジネスの育成等の諸施策事業への参加・協力

2.会員拡充

福井県情報システム工業会ならびに情報産業の発展のために会員の拡充を図る。

3.講演会の開催及び交流会の実施

関係団体が有する新技術・新情報に関する講演会を開催し、情報産業界及び会員企業の向上発展に資するとともに、交流会を実施し、会員の相互理解と親睦を図る。

4.部会の開催

事業の計画策定及び実施検討・進捗状況確認等のため部会を2回程度開催する。

● 総務・企画部会

県内情報関連産業界の向上発展に係る企画・推進を図る。

事業概要

1. 総会及び理事会の開催

- (1) 通常総会の開催。(令和4年5月31日(火) ザ・グランユアーズフクイ)
- (2) 理事会の開催(6回程度開催予定)
- (3) 正副会長会議の開催(随時)

2. ふくいITフォーラム2022への参画

福井県IT産業団体連合会が主催する「ふくいITフォーラム2022」に企画委員として参画する。

ITフォーラム開催期日：令和4年10月20日(木)、21日(金)

3. 会員に対する各種情報の提供

- (1) 産学官及びその他の機関が有する有益情報の収集と会員への提供
- (2) ホームページの充実を図り、当会の活動状況及びIT関連情報を提供

4. 福井労働局が実施する事業への協力

5. 会員交流会の開催

交流会を開催し、会員相互の親睦、交流を図る。

6. 部会の開催

事業の計画策定及び実施検討・進捗状況確認等のため部会を2回程度開催する。

● 技術部会

業界に必要な高度な人材の育成、新技術や経営に関する研修・セミナー・シンポジウム等の実施により、技術力の向上と業界基盤の確立を図る

事業概要

1. I T 人材育成に関する産学官による意見交換会の実施

I T 業界に必要な人材をいかに育成するかを課題に産学官による意見交換会を開催する。

2. 技術者向け講習会の開催

会員各社の技術者を対象に、業界の課題、必要とする技術をテーマに講習会を開催する。

3. 先進企業等への視察研修の実施

最新の技術・知識及び情報の取得を目的に、先進企業等への視察研修と意見交換会を実施する。

4. I T 業界向け研修の実施

(公財) ふくい産業支援センターが実施する I T 関連講座のカリキュラムの検討及び受講者募集等について協力する。

5. 関連機関等の連携

I T 関連の施策・イベント等の後援、委員派遣、賞品等の支援による I T 普及活動を実施する。

6. 部会の開催

事業の計画策定及び実施検討・進捗状況確認等のため部会を 2 回程度開催する。

● 人材確保・育成部会

会員企業における雇用管理改善に取組み、高度な人材の確保と育成を図る。

事業概要

1. (公財) ふくい産業支援センターとの共同事業

(1) ふくいソフトウェアコンペティション2022への参画

ア. (公財) ふくい産業支援センターと合同で検討委員会を設置し、ソフトウェアコンペティションの充実・強化を図る。

イ. 入賞者によるプレゼンテーションの実施協力

(2) (公財) ふくい産業支援センターが主催するITインキュベート事業への協力

当会会員との交流の場を定期的に設け情報意見の交換・支援等を実施する。

(3) ふくいITエンジニア養成スクールへの協力

システム開発コース、webデザインコースについて企画運営に協力

学生向けコースについては、DXオープンラボの関連事業として当工業会が受託

2. 学生を対象とした人材確保・育成事業の実施

(1) 福井県経営者協会等が実施するインターンシップへの協力。

学生を企業現場等の実践環境に一定期間派遣し、即戦力となる高度技術者の育成を図る「実践型人材育成事業」に参加協力する。

(2) 福井大学、福井工業大学、福井県立大学の情報関連講座への講師派遣

実社会で学生に要求されるもの・大学で習得すべきものについての講座に講師を派遣する等の協力を行う。

(3) 福井県立科学技術高校の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」への協力

地域社会、産業に貢献できる人材を育成するため、先端技術の習得、高度な資格取得等に関するカリキュラムの開発や共同研究などの事業協力を行う。

(4) 人材バンク・企業説明会等の紹介

国（総務省、経産省等）、県、大学その他の団体等が実施する人材バンク・企業説明会等の関連情報をタイムリーに紹介し、会員各社が必要とする人材確保の一助とする。

(5) ホームページの充実による会員企業の社員募集案内の実施

3. 講演会の開催及び交流会の開催

新技術・新情報に関する講演会を開催し、IT業界並びに会員企業の向上発展に資するとともに、交流会を開催して会員の親睦と相互理解を図る。

4. 部会の開催

事業の計画策定及び実施検討・進捗状況確認等のため部会を2回程度開催する。

● DXオープンラボ管理運営委員会

(公財) ふくい産業支援センターに設置された「ふくいDXオープンラボ」において、DX技術に関する勉強会やプログラミング体験会など、導入効果や活用方法を学べるイベントを開催するとともに、専門知識を有する運営スタッフが企業のDX技術導入等に関する相談に対応することにより、本県のDX技術の普及を推進する。

1 ラボ運営業務

- (1) 来訪者や見学者への対応
- (2) 展示物の維持管理
- (3) 勉強会等の運営補助

2 関連業務

- (1) 外国人人材の受入れ企業発掘とマッチング等
外国人人材2名について、工業会会員企業を中心に受入れ先の企業を募集し、応募のあった中から派遣企業を選定する。
- (2) DX推進を支援するIT企業向けの研修【アジャイル研修】
「アジャイル」に関するセミナーおよび研修会を企画実施する。
- (3) 県内IT企業の情報収集およびリスト化
一般企業が活用できるよう、県内のIT関連事業者の情報を収集し、ウェブサイトで提供する。
- (4) 県内学生等に対するシステム開発・交流イベントの実施【IT人材養成スクール】
県内での就職を検討している学生等に対し、システム開発・交流に関するイベントを実施し、IT産業への関心や理解を促進するとともに、県内IT産業への就職につながるよう努める。

3 その他

「ふくいITフォーラム」にラボを紹介するブースを設ける。

県内大学、高校等と連携し、学生、生徒を対象にしたラボの見学会を開催する。

● 越前がにロボコン実行委員会

「第6回越前がにロボコン」の開催について、共催者として事業協力する。

- 1.大会名 「第6回越前がにロボコン」
- 2.開催日 令和4年12月17日(土) 10:00～17:00
- 3.会場 ベル 3階 あじさいホール
- 4.主催 福井県こどもプログラミング協議会
- 5.共催 (一社)福井県情報システム工業会、(株)福井新聞、福井県機械工業協同組合
- 5.後援 福井県 福井県教育委員会 福井商工会議所 福井大学 福井工業大学
福井工業高等専門学校 NHK福井放送局 FBC 福井テレビ
福井県漁業協同組合連合会 ショッピングシティ・ベル(予定)
- 6.大会概要
 - ・市販ロボットキット等を活用し、蟹をイメージする自作のロボットで競技に挑戦する。
 - ・対象は小・中学生とし、歩行部門(小中学生)と車両部門(小学生)にします。

● DX化検討委員会

福井県がデジタル活用先進県になるために推進するデジタルトランスフォーメーション(以下、DXという。)に、分科会を設置して県の事業担当課等と協議しながら具体的な施策を推進する。

① 行政手続き分科会

活動方針：月一度の定期 MTG（オフライン&Zoom）と、Slack を使った常時ディスカッションをすすめる。

事業概要

スムーズで誰もが安心して納得できる電子申請は、円滑な経済活動の要であり、県内 GDP アップのベースとなる。福井県にて、いちはやく実証・実用化し、国へ報告し、開発したシステムを他県、他国へと横展開することによる福井県への IT 産業の拡大、IT セクターの売上増を狙う。

② サイバーバレー分科会

福井県に、「サイバーバレー」を構築するための検討を行う。

正味財産増減計算書

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入会金収入	0	50,000	-50,000
正会員入会金	0	50,000	-50,000
会費収入	7,380,000	7,584,000	-204,000
正会員A会費	4,578,000	4,500,000	78,000
正会員B会費	2,280,000	2,580,000	-300,000
正会員C会費	120,000	120,000	0
正会員D会費	162,000	144,000	18,000
協賛会員会費	240,000	240,000	0
事業収入	8,438,637	8,745,000	-306,363
援助金	144,637	0	144,637
受託事業	0	0	0
受託事業	8,294,000	8,745,000	-451,000
補助金	0	0	0
蟹ロボコン	0	0	0
その他	0	0	0
雑収入	250,121	111	250,010
受取銀行利息	121	111	10
諸会合会費	0	0	0
事務受託費	0	0	0
その他	250,000	0	250,000
経常収益計	16,068,758	16,379,111	-310,353
(2) 経常費用			
管理費支出	6,958,572	6,026,235	932,337
給与・手当	3,979,442	3,869,200	110,242
法定福利費	637,802	651,954	-14,152
福利厚生費	136,507	134,338	2,169
会議費	691,469	77,850	613,619
賃借費	327,280	294,880	32,400
通信運搬費	178,466	163,025	15,441
支払手数料	6,270	3,630	2,640
印刷製本費	137,849	98,859	38,990
旅費交通費	14,300	0	14,300
消耗品費	209,087	12,798	196,289
設備費	0	0	0
負担金	356,500	396,500	-40,000
指導料	105,600	105,600	0
諸謝金	0	0	0
広告費	0	0	0
租税公課	11,200	10,800	400
減価償却費	151,800	151,800	0
慶弔費	10,000	25,000	-15,000
諸会費	0	30,000	-30,000
廃棄損	0	1	-1
雑費	5,000	0	5,000
部会費支出計	189,244	371,845	-182,601
渉外部会費支出	13,090	14,190	-1,100
部会費	0	0	0
例会会場費	11,440	11,440	0
例会機器借料	1,650	2,750	-1,100
例会会議費	0	0	0
その他支出	0	0	0

科 目	当年度	前年度	増 減
総務部会費支出	150,594	142,965	7,629
部会費	0	0	0
例会会場費	0	0	0
例会機器借料	0	0	0
例会会議費	0	20,900	-20,900
その他支出	150,594	122,065	28,529
技術部会費支出	13,090	190,380	-177,290
部会費	0	0	0
例会会場費	11,440	11,440	0
例会機器借料	1,650	2,200	-550
例会会議費	0	0	0
その他支出	0	176,740	176,740
人材確保・育成部会費支出	12,470	24,310	-11,840
部会費	0	0	0
例会会場費	6,500	18,340	-11,840
例会機器借料	5,970	5,970	0
例会会議費	0	0	0
その他支出	0	0	0
事業費支出計	7,549,342	8,025,764	-476,422
蟹ロボコンテスト委員会支出	0	0	0
会場費	0	0	0
その他支出	0	0	0
DXラボ運営委員会支出	7,549,342	8,025,764	-476,422
人件費	3,761,273	3,379,456	381,817
相談員人件費	2,343,000	3,410,000	-1,067,000
研究会(セミナー)	356,210	165,000	191,210
勉強会	376,520	365,520	11,000
展示物	369,592	612,191	-242,599
WEBサイト	180,393	33,030	147,363
広報費	96,584	0	96,584
その他支出	65,770	60,567	5,203
DX検討委員会支出	0	0	0
委託費	0	0	0
会場費	0	0	0
機器借料	0	0	0
事務費	0	0	0
その他支出	0	0	0
経常費用計	14,697,158	14,423,844	273,314
当期経常増減額	1,371,600	1,955,267	-583,667
2 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
特別引当金取崩し額	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額	1,371,600	1,955,267	-583,667
一般正味財産期首残高	11,708,583	9,753,316	-1,872,526
一般正味財産期末残高	13,080,183	11,708,583	1,955,267
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,080,183	11,708,583	1,371,600